

7 景観向上の主な取組

①道路・サイクリングルート沿道

道路附属物…「景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(国土交通省)により景観に配慮した色彩(ダークブラウン)の採用を基本とする。
沿道の除草等…日野川の見えるサイクリングルートの範囲の拡大に取り組んでいく。
のぼり旗等…高彩度の横断幕やのぼり旗等は景観に悪影響を及ぼすため、派手な色彩を避けることや、同じ内容ののぼり旗を乱立させないこと等を促していく。



高彩度ののぼり旗と白色フェンス

②屋外広告物

公共の屋外広告物…町が設置する案内看板、観光看板等の屋外広告物について、チェックシートを用いて改修・撤去の可否等を整理し年次的に景観形成に配慮した改修・撤去等を行う。
民間屋外広告物…地域貢献企業への働きかけ等を通じて民間へ景観配慮の取組が波及していく事を目指すとともに、廃業された事業所等に残置された看板の撤去を促していく。

③建築物・まちなみ・農村景観

建築物・まちなみ…根雨宿のようにまちなみ景観が形成されている地域においては、まちなみ景観の維持・保全に係る方策を検討していく。
農村景観等…農業用資材に多く見られる青色(ブルーシート)、緑色及び白色等の自然景観に馴染まない色彩をできる限り排除し、自然景観に馴染む農業用資材の活用を推奨していく。



棚田景観の中にあるブルーシート

④住民ワークショップをふまえた取組

景観資源等に関するWS(R7.3.18-19) 講師:東京大学名誉教授 堀繁氏
(主な意見)



景観に関する講演会・グループワーク

- ・観光客やサイクリスト等を意識した休憩場所や展望地の整備が不十分
- ・石霞溪(日南町):ゆっくりと景観を楽しめる環境整備・老朽看板の撤去
- ・根雨宿(日野町):眺望の良い旧根雨公会堂の活用が不十分
- ・明地峠(日野町):ビューポイントとしての眺望の確保等の整備が不十分
- ・貝田の棚田(江府町):季節ごとの景観やビュースポットの情報発信
- ・南大山観望駐車場(江府町):立入禁止区域の活用

滞留拠点に関するWS(R7.8.21-22) 講師:東京大学名誉教授 堀繁氏
(主な意見)



まちあるきワークショップ(根雨宿)



グループワーク(ホームランド多里)

- ・ホームランド多里(日南町)
施設前の国道を走る方や観光客の立ち寄り率、滞在時間の向上を図る環境整備が必要
- ・根雨宿(日野町)
水路や伝統的な建物を活かすまちづくりが必要
- ・道の駅奥大山(江府町)
屋外でくつろげるスペースの確保等が求められる

8 今後の行動計画

①推進体制

3町が各々の取組を進めつつ、日野郡全体としてのまとまりを意識して情報共有し、連携していくことを基本とする。

行動計画の策定にあたり組織した策定委員会を鳥取県日野郡連携会議「観光・交流ワーキンググループ」に移行し、公共サイン計画の作成や景観資源等の具体的な整備の検討など、本行動計画に定める取組が着実に進むよう進捗管理を行うとともに、必要に応じて、有識者に意見や助言を求めていく。

②取組スケジュール

取組内容に応じて短期、中期、長期に整理し、早期に取組・検討が可能なものについては令和8年度から取り組んでいく。

③民間の取組誘導及び支援

鳥取県広域景観形成支援事業を活用した支援制度の創設を検討し、住民団体等の活動を支援していく。

<支援の対象となる活動例>

- ・民間の屋外広告物の改修等
- ・沿道の植栽管理・美化活動
- ・農業用資材における景観配慮

④広報及び情報発信等

行動計画に基づく取組を町ホームページ、広報誌、SNS等により幅広く周知していくとともに、様々な機会を通じて各町内で地域づくり活動に取り組む団体や町民と対話し、情報提供し、地道に協力を働きかけていく。

また、国土交通省による「日本風景街道」制度については、登録によるPR効果や、近隣地域等との交流や他の登録団体等との情報交換を図ることができる等のメリットがあるため、今後の状況に応じて取組を検討していく。

日野郡広域景観形成行動計画策定委員会

日南町(環境エネルギー課、地域づくり推進課)、日野町(企画政策課、産業振興課)、江府町(総務課)

鳥取県(生活環境部くらしの安心局まちづくり課、日野振興センター日野振興局・日野県土整備局)

日野郡広域景観形成行動計画

概要版

この先の時代に日野郡らしい景観をつなぎ、より多くの人々が訪れつづぐ地域へ

日南町・日野町・江府町
(鳥取県日野郡連携会議)

1 計画の目的

日南町・日野町・江府町の日野郡3町をつなぐ日野川や、「日野郡サイクリングルート」の周辺には、四季折々の美しい自然景観や田園景観、地域で育まれた生活や生業とともにある景観資源が多数存在します。

これらの景観資源を整理し、保全し、磨き上げ、更なる活用を進めるとともに、住民理解を広げながら取組の拡大を図っていくことで、日野郡の交流人口の拡大や更なる地域活性化に繋げていくことを目的としています。



日本古来の製鉄法「たたら製鉄」が盛んに行われ、奥出雲と並ぶ一大産地として「奥日野」と呼ばれた日南町、日野町の景観



中国地方最高峰の大山の南麓に位置し、「奥大山」と呼ばれる江府町のエリアにある大山南壁を望む棚田の景観

2 取組の対象地域

計画では、日野川、日野郡サイクリングルートや、西部地域の魅力を発信するプロジェクト「大山時間」におけるサイクリングルートの周辺及び町内観光スポットとこれらを繋ぐルートの周辺を対象とするほか、計画の目的達成のため一体的に取り組むことが効果的と考えられる地域を対象として取組を進めます。



日野郡サイクリングルート: ——— 【大山時間】— 日南町: ——— 日野町: ——— 江府町: ———

3 日野郡の景観

四季折々の景観が見られる日野川や、日野川とその支流を中心として開けた集落と耕地、奥大山エリアにおける大山南壁を背景とした雄大な景観など、多様な自然景観が見られることが日野郡の特徴のひとつとなっています。

また、歴史を感じられる古社・古寺が各所に残るほか、日南町の多里宿、日野町の根雨宿や江府町の江尾地区では古くからの街道や宿場町の痕跡が見られます。

道路や鉄道交通のアクセスの良さから多くの観光客が訪れ、江府町及び日南町における2つの道の駅のほか、日野町の金持テラスひの、日南町のホームランド多里といった地域の特色ある施設が立ち寄り先として賑わいを見せています。



木谷沢溪流(江府町)



日野川の橋上を泳ぐ鯉のぼり(江府町)



道の駅奥大山(江府町)



鍵掛峠から望む大山南壁とブナ林(江府町)



大山南壁と茅葺小屋(江府町)

景観資源等マップ(主なもの)



道の駅にちなん日野川の郷(日南町)



ホームランド多里(日南町)



石蔵溪(日南町)



旧日野上小学校の大イチョウ(日南町)



大石見神社(日南町)



金持神社(日野町)



日野川に飛来するオンドリ(日野町)



たたら製鉄根雨学舎(日野町)

4 景観上の課題

日野郡には、日本の原風景とも言うべき美しい自然景観や田園景観等が多数存在しますが、景観上好ましくない屋外広告物や、高彩度ののぼり旗などが存在するほか、沿道景観も殺風景な箇所が散見されます。

また、景観を広域的な視点で捉えて観光誘客や地域活性化に繋げる取組がこれまであまり無かったことから、点としての景観資源やビュースポット、滞留拠点を磨き上げて更なる活用を図り、面的な賑わいに繋げていく必要があります。



南大山観望展望駐車場の立入禁止エリア



沿道ののぼり旗と白色フェンス



歩道が確保されていない景勝地(石蔵溪)



雑然として近寄り難い日野町歴史民俗資料館

5 景観形成の取組コンセプト

つなぐ
・
つどう

四季折々の豊かな自然景観や、古くから街道や日野川によって結ばれた地域で先人が築いた歴史・文化、人々の暮らしなどの繋がりによって形づくられた景観資源を、この先の時代にも繋いでいくことを目指します

日野郡を訪れた方が集い、楽しむ「滞留拠点」の磨き上げに重点的に取り組み、たたら製鉄のたたら場や宿場町に人々が集った往時に思いを馳せながら、人々が訪れたいくなる、集いやすい地域づくりに取り組みます



6 コンセプトカラー

日野郡の歴史的資源である「たたら製鉄」等をイメージしたコンセプトカラーを設定し、計画対象地域沿線の道路附属物や屋外広告物などへの採用を広げていくことで、地域・沿線の統一感ある景観形成を図っていきます。

基本カラー

愛称:ひのブラウン

鉄の表面が酸化して生じる錆を想起させる和の伝統色「さび色」と、伯備線を走る特急やくものボディカラーの中間色をイメージ

サブカラー

愛称:ひのブルー

くろがね(黒鉄)を想起させる和の伝統色「鉄色」を、基本コンセプトカラーの採用がそぐわない場合のサブカラーとして設定

(採用イメージ)

